

教 務 旬 報

教務通信 第2号 令和2年6月17日

前期中間考査が始まります

本校は、二期制（前期・後期）です。それぞれ、中間考査と期末考査があり、年間4回の定期考査を受けなければなりません。

当初の予定から遅れましたが、6月24日（水）から3日間、今年度、第1回目の定期考査が始まります。

休まず授業に出ていますか。授業の内容は理解できていますか。ノートの整理や教科書の理解など、今までの学習で不十分なところは、考査まで遅れを取り返しておきましょう。今までの学習成果を評価してもらう大切な考査で、単位の修得・卒業につながるようしっかり学習に取り組んでください。時間に余裕をもって計画的に勉強することで、能力が十分発揮できるはずです。下記、定期考査受査心得を読み受査のルールも確認しておきましょう。

定期考査受査心得



- 1 考査時、入校許可証は机の上に置き、監督者が確認できるようにする。
（入校許可証の無い者は受査できない。）
- 2 遅刻の場合は直接考査室へ行くこと。
（15分以上の遅刻は欠課扱いとして、考査得点の8割を得点とする。）
- 3 欠席する場合は、必ず学校に連絡すること。無断欠席、正当な理由がない欠席は0点とする。
（公欠・忌引等の再考査は、結果の10割を得点とする。
病欠（テスト前に連絡があり、学校が認めた場合）の再考査は、結果の8割を得点とする。）
- 4 正当な理由があり欠席した場合は、「再考査受験願」を提出し、再考査を受査することができる。
日程については、後日連絡する。
- 5 監督者の指示により、教科書などの荷物をロッカーもしくは教室の前後に置くこと。
（机の中や脇に、荷物を置いてはいけない。）
- 6 机間を十分空けて着席すること。
（63、73教室での試験については、1つの机で2人着席とする。）
- 7 試験中、机の上には筆記用具（及び入校許可証）以外は置かない。筆入れはしまう。
- 8 途中退出は、原則として認めない。
- 9 万一、体調が悪く受査ができない場合は、担任とよく相談すること。（緊急時を除く）
- 10 携帯電話は、電源を切り（アラーム・着信音等も鳴らないようにする）かばんの中に入れておくこと。
試験中、机の上に置いたり、ポケット等に入れたままにしてはならない。
- 11 不正行為又はそれに類する行為があった者は0点とする。それ以降の考査は受査できない。
（カンニング、私語、態度不良（監督者の指示に従わない）等）
- 12 問題用紙も回収するため、解答用紙、問題用紙双方に記名すること。
- 13 終了と同時に筆記用具を置き、番号順に速やかに後ろから解答用紙、問題用紙を回収・提出する。

【対象者：参加を希望する生徒】

令和2年5月18日(月)～22日(金)の併修者・再履修者の授業は、課題学習でした。この期間の学習について前期中間考査前に質問会を開催予定です。**参加希望者**は教科担任の先生に申し出て下さい。日時場所は、下記の通りです。

- 1 日 時 令和2年6月22日(月) II部の生徒(午前授業の併修・再履修者) 12:30～13:00
I・Ⅲ部の生徒(午後の授業の併修・再履修者) 16:30～17:00
- 2 場 所 8F 視聴覚室 (人数多数の場合は、5F会議室も追加します。)

<保護者の方々へ>

教務旬報は、ホームページでもご覧いただくことができます。モバイルサイト（スマホで閲覧可能）も対応しています。アクセスは以下のアドレスへ

<http://www.kajogakuen-h.ed.jp/htdocs/定時制の課程/生徒・保護者の方へ/>

もしくは、「霞城学園高校」で検索をお願いします。